

地域とJAを結ぶ、心ふれあう情報誌



夢彦

2023

vol. 316

12 ふれあいだより

JA京都 **にのくに**

<https://ja-kyotoninokuni.or.jp>



ja_kyotoninokuni

公式LINEアカウント
「ふれ愛」



にのくにびと：木内 康雄さん

P 2. 全国茶品評会で「農林水産大臣賞」と「産地賞」を受賞!

P 6. 若宮酒造株式会社 代表取締役 木内康雄さん
新しい感性と昔ながらの手法で醸す日本酒



JAグループ京都は、京都マラソン2024を応援しています。



全国茶品評会で

「農林水産大臣賞」と「産地賞」を受賞！

今年度の全国茶品評会で最高位の「農林水産大臣賞」と「産地賞」に輝き、
全国お茶まつりにて褒賞が授与されました。



10月28日に福岡県八女市の八女市民会館おりなす八女にて、第77回全国茶品評会褒賞授与式が開催されました。10月号でもお知らせしましたが、8月22日から25日の4日間に渡り開催された全国茶品評会出品茶審査会にて当JA管内の生産者、菱田繁政さんが「かぶせ茶の部」で最優秀賞にあたる「農林水産大臣賞」を受賞、上位3点の得点が高い産地に贈られる「産地賞1位」を舞鶴市が獲得しました。当JA管内での産地賞の獲得は、平成20年から令和元年まで12年間連続を含む15度目の受賞となりました。
当JAからは26点、そのうち16点が入賞しました。



農林水産大臣賞を受賞した菱田繁政さん



産地賞1位 舞鶴市



万願寺甘とう 7年連続過去最高の 出荷額を記録。



当JAの特産物、「万願寺甘とう」の今シーズンの出荷が11月末で終了しました。

今シーズンは7月から8月にかけての猛暑の影響で出荷量が大幅に減少し、通信販売の取り扱いを中止した時期もありましたが、平均価格は堅調に推移し、10月27日時点で節目の出荷額4億円を突破、その後も順調に出荷額を伸ばし、速報ベースで過去最高の4億3千万円を達成しました。



新商品「プレミアム万願寺甘とう」販売好調

今年度より販売を開始した「万願寺甘とう」の最高峰「プレミアム万願寺甘とう」は去る10月10日に出荷を終了しました。「これぞ！最高の万願寺甘とう」という果実を生産者と検品場の熟練選果員が厳選。秀品の中の秀品16本を木箱に納めました。販売開始の6月より多くのお問い合わせを頂き、当初の計画を上回る出荷がありました。



プレミアム万願寺甘とう

首都圏でのトップセールス・販売促進活動



これまで「万願寺甘とう」になじみの薄い首都圏への販売促進を目的に、8月に東京シティ青果市場にて迫沼組合長によるトップセールス、10月には舞鶴市主催の物産観光PRイベント「まいづるフェスタ in 丸の内」に佐々木常務が参加。来場者に向けた万願寺甘とうの試食をはじめ即売会などを開催し、首都圏の市場関係者や消費者にPRしました。



農産物直売所や地域イベント、料理レシピサイトなど地域に根差したPR活動の展開



農産物直売所での「万願寺甘とう」PRイベントの開催や、地域イベントで炭焼き万願寺甘とうの販売などを通じて、身近に親しまれる万願寺甘とうに向けたPR活動や、HPでの時短レシピや女性部考案のレシピを掲載。万願寺甘とうの簡単で新たな食べ方を提案しました。



地域活性化に支店活動活性化委員会も取り組んでいます

■ 三和支店活動活性化委員会

11月12日に農林産物品評会や地域の子どもの作品展示、ステージ発表や各種団体の模擬店の出店など、市民参加による手づくりの地域交流イベント「三和ふれあいフェスティバル」が開催されました。JA女性部有志や三和支店活動活性化委員会による模擬店が出店され、おこわや炊き込みご飯などを買求める来場者や、「当てもの」を楽しむ子どもたちで賑わいました。



農林産物品評会



模擬店には多くの人で賑わいました

■ 夜久野支店活動活性化委員会

11月19日、福知山市の道の駅「農匠の郷やくの」にて、夜久野農林商工祭が開催されました。会場では農林産物品評会・即売会が行われ、模擬店ではジビエ料理など地域の特産物を使用した料理が提供されました。当JAからは出張彩菜館での野菜の販売や、来場者が持参した米の食味検査を実施し、多くの来場者にPRしました。



ポン菓子や地元野菜を買求める人で賑わいました

■ 支店活動活性化懇談会

上半期の活動と自己改革の取り組みを報告

11月8日から29日にかけて、支店単位で組織されています支店活動活性化委員会が主催する、懇談会が13会場で開催されました。懇談会では上半期の活動の報告と併せて、当JAが取り組む自己改革の取り組み状況や当JAの今後の方向性を報告いたしました。



■ WEB受注システム

「JAねっとショップ」オープン

本誌10月号でご案内しました、スマホやタブレット・パソコンなどからいつでも・どこでも簡単に肥料などを注文できる「JAねっとショップ」(WEB受注システム)が11月13日より稼働を開始しました。JAねっとショップでは、一部商品を除いて肥料や農薬をいつでも、どこでも専用価格で注文できます。詳しい内容やご登録のお申し込みなどについては、最寄りの広域営農経済センターまでお問い合わせください。



購入履歴も確認できます

■ 綾部支店

葉ボタンとメダカでお出迎え

綾部支店の玄関に葉ボタンとメダカの水槽が展示され来店者の目を楽しませています。

綾部支店では毎年この時期に、綾部支店活動活性化委員会の岡本委員長が育てられた葉ボタンを玄関前に展示されています。今年は職員のアイデアでロビーにメダカの水槽を設置しました。



玄関を彩る葉ボタン

■ 青葉支店活動活性化委員会

もみ殻堆肥づくりに取り組む

11月17日、青葉支店活動活性化委員会は支店敷地内にて「もみ殻堆肥づくり」に取り組みました。約400kgのもみ殻と米ぬか、油粕など水をかけながら木箱の中にサンドイッチ状に積み重ねていきました。熟成後、出来上がったもみ殻堆肥は支店敷地内の「おもしろガーデン」に使われるほか、来店者にプレゼントされる予定です。



箱一杯にもみ殻を仕込みました

■ 舞鶴西支店活動活性化委員会

イチゴ苗の植え付け方法を学ぶ

11月7日、舞鶴西支店活動活性化委員会は野菜の栽培講習会を開催しました。舞鶴西支店管内から応募された20人が舞鶴広域営農経済センターの担当者から、苗の植え付け時の注意点や、大きくておいしいイチゴを育てるコツ、病害虫対策について説明を受けた後、実際にイチゴ苗を鉢に植え付けました。植え付けたイチゴ苗はそれぞれ参加者が持ち帰りました。



イチゴ苗の植え付けをする参加者

若宮酒造株式会社 代表取締役 木内康雄さん

新しい感性と昔ながらの

手法で醸す日本酒



冬の風物詩として地域に定着している日本酒「丹の国徳丸」。五百万石をはじめ100%管内産の酒米を使用し、地元酒蔵で醸されるという、全国的にも稀な完全地産の日本酒です。醸造元若宮酒造株式会社で、代表取締役を務める木内康雄さん(51)に酒造りや地域への思いを伺いました。

サラリーマンから 杜氏への転身

1920年創業の同社は、「三丹酒造」と号する前身の時代から長く地域に愛され続ける酒蔵である。戦後、静岡で酒問屋を営んでいた祖父が縁あって取引を始め、後に経営を引き継いだ。しかし日本酒の需要は年々減少。事業を畳むと聞き、当時、東京でサラリーマンをしていた木内さんが「祖父が愛したこの地の酒蔵を守りたい」と同社の跡継ぎとして名乗りを挙げた。知識も経験もゼロの状態から、蔵にこもって杜氏に酒造りを学ぶ日々。麴のつくり方、毎朝一番にもろみの「ツラ」を見ること、音を聞くこと、味を利くこと。毎日ツラ、つまり表面の泡を見て発酵の進み方を判別し、泡の消える音を聞いて糖分の残り具合を測る。そして温度や発酵時間を随時調整してめざす酒に近づけ、味を利いて「今

が旨い」と感じたタイミングで搾る。数値を厳密に管理する現代の醸造学とは一線を画す、昔ながらの酒造りだ。木内さんが代表取締役兼杜氏となつて12年。若宮酒造はさまざまニーズに応える約20種の酒を造り、特色ある新商品の開発も続けている。前述の「丹の国徳丸」もそうした試みで生まれた酒のひとつだが、同社の挑戦は、日本酒造りだけに留まらない。

日本酒と地域の 将来を見据えた取り組み

若宮酒造は府内の大学と連携し、実践教育の場として積極的に学生を受け入れている。学生自身が飲みたいと感じる日本酒を共に企画し、発案された酒は、綾部高校東分校で栽培された酒米を使って木内さんが実際に醸造する。「このプロジェクトに参加した若者が、日本酒を身近に感じて将来飲む酒の選択肢に入れたら、周囲に魅力を語ってくれたら」。未来ニーズの創造は、蔵元はもちろん米農家の将来にも大きな意義がある。かつて東京から妻子を連れ、ほとんど知人もいない綾部市に移住した木内さん。しかし地域から温かく受け入れられ、見守られて今があると感謝の



木内さんは丹波と丹後それぞれの杜氏に師事。双方の技術を組み合わせた酒造りが若宮酒造の特徴。



普段づかひの食中酒から特別な日のための高級酒、近年ニーズの高まる低アルコール酒など、さまざまな日本酒を揃える。

念は尽きない。その恩返しに地域経済の活性化に貢献するべく、地域の米農家に酒米の契約栽培を委託したり、異業種間のコラボレーションも今後進めたいと展望を明かす。今年度造る「丹の国徳丸」は精米歩合をさらに高め、より飲み口のキレイな純米吟醸に仕上げる予定だ。「おいしいものを提供しつつ、米農家さんたちとみんながでなければ」と木内さんは抱負を語った。

Art Gallery



綾部市 芦谷 佐智子さん



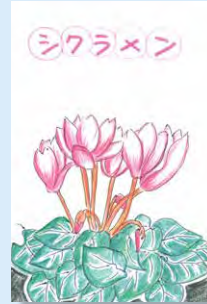
綾部市 大槻 郁代さん



綾部市 塩尻 みどりさん



舞鶴市 梅垣 好さん



舞鶴市 大谷 千絵さん



舞鶴市 竹原 敏子さん



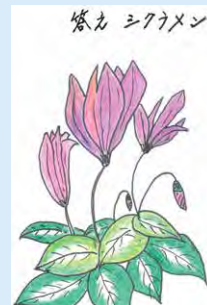
舞鶴市 田端 みつ子さん



舞鶴市 永野 功子さん



舞鶴市 ベンネーム ぶんさんさん



福知山市 四方 ぶみ子さん

今月の一枚



京都府 JA 年金友の会グラウンドゴルフ大会での一枚。

9月に開催しました「にのくに大会」の上位入賞3チームが京都府大会に出場されました。惜しくも上位入賞とはなりませんが、選手の皆さんはプレーを楽しまれました。

伝言板

今年初めて四角豆を植え、昨日撤去しました。この豆は、根っこも食せると分かったので掘ったところ、なんと白い長芋の様なものが出てきました。皮を剥き、きんぴらにしました。繊維も多いですが、モチモチとした食感で余すところなく頂きました。
綾部市 荒木 節子さん

舞鶴の稲作農家、南部さんとお孫さんの記事を読みました。今、ごこの地域でも後継者、問題で大変な時期なのに、親子、孫と三代で農業ができるということは素晴らしいことですね。若者たちに「農業をやっていて良かった」と思える農村になればいいですね。
福知山市 細見 令子さん

舞鶴市 匿名希望さん

8月の台風7号による「記録的短時間大雨情報」。一夜にして目の前の景色が変わったといっても過言ではないような状態でした。最近「寒い、寒い」と言いながらも、何事もなく一日一日が過ぎていく平凡な日常に感謝しております。
福知山市 田中 美千子さん

花屋さんの軒先にシクラメンの花が並び始めると、甘く切ない青春の思い出がよみがえります。♪真綿色したシクラメンほど……いい時代だったなあつくつく思います。
福知山市 衣川 京子さん

今年のカメムシの多さ！はじめはたくさん捕れるので楽しんでいましたが、途中からは怖さを感じる位になりました。捕っても捕っても、洗濯物は払っても払っても後から出てくるし、夜には電気に寄ってくるし、もう疲れ果てました。でも先日頃から寒くなり、ようやく数も減り、やれやれです……。
福知山市 衣川 京子さん

お子様募集!!

にこにこ SmileShot に掲載する地域の元気なお子さんを募集しています。掲載させていただいた方には、掲載写真をパネルにしてお送りします。

対象：0歳から6歳までの管内在住のお子様（小学校入学未満）

応募方法：件名に「Smile Shot 応募」と明記し、下記メールアドレスまで必要事項をご記入の上、写真を添付してお申し込みください。（ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp）

必要事項：氏名・ご住所・電話番号・お子様との続柄・お子様の名前・お子様の年齢・お子様へのコメント

農業に関する
様々な質問に
お答えします

営農経済部の 野菜づくり教室

排水対策

野菜づくりには排水対策が
欠かせません。

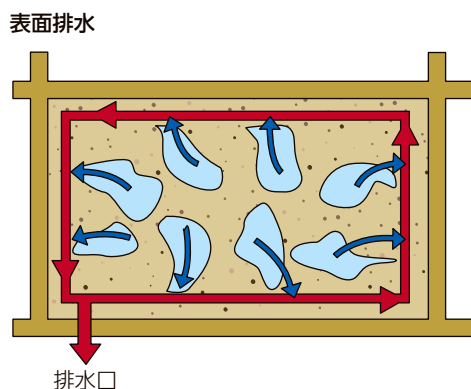
【土づくり】

野菜づくりには、団粒構造の土が適しています。団粒構造の土とは、湿らせた土を握ると、いったん固まりますが、指で押すとすぐ崩れる状態の土です。湿らせた土を握ったときにべたついて固まる粘土質の土は、水はけや通気性が悪く、野菜が根腐れを起こす危険があります。一方、湿らせた土を握ってもパサパサして固まらない砂質の土は、すぐに乾いてしまい、水や養分を保持できません。粘土質や砂質の土の場合は、土壌改良をすることが必要です。土壌改良をするためには、いずれも堆肥や腐葉土などの有機物をたっぷり加えて、しっかりと耕すことが重要です。有機物を入れることで、微生物が増えて土の団粒化が促され、水はけや水もち、通気性、保肥力などが良くなります。投入する量は1aあたり200kgが目安ですが、土の状態によって変えましょう。粘土質の土では200kgよりも多く入れ、砂質土は200kg未満にします。また、もみ殻などの土壌改良資材を使うのもおすすめです。堆

肥や腐葉土は徐々に分解されるため、一気にいい土にすることは難しいですが、毎年有機物を投入することで確実に地力がつき、いろいろな野菜がおいしくできるようになります。

【畝立て】

畝には通気性や排水性を良くするといふ利点があります。一般的な畝幅は1mです。排水が悪い圃場では、畝の高さを20〜30cmの高畝にします。



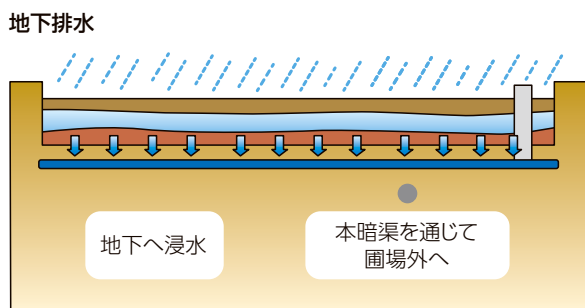
【明渠と暗渠】

機械を使った排水対策もご紹介いたします。

明渠は、圃場全体に水路をつくることで、集中豪雨などのときにできた水たまりをすばやく排出し、湿害を回避することができます。そして、排水性の改善により、

土壌中に空気を送り込み、根腐れを防ぐことができます。やり方は、溝掘機等を使用し、20〜30cmの深土を掘り、確実に落水口につながるように排水溝を施工します。

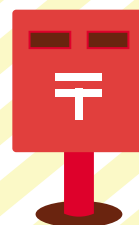
暗渠は、作土の下にできた硬い層を破碎し、作土層にたまった水を下層へ排出する作業です。収穫作業などで踏み固めた土や雨などで締まった土を柔らかくすることで、水はけをよくして空気を増やして根の伸びる環境を整えます。また、微生物のバランスを改善し、病害虫を抑制します。やり方は、60〜100cmの深土に穴の開いたパイプを勾配をつけて設置し、排水溝に地下水を排出できるように施工します。業者に工事をしてもらうのが一般的です。



野菜に関する
疑問・質問
大募集!!

野菜づくり教室は、農業に関する様々な質問にお答えするコーナーとなりますので、ハガキやEメールでどしどしお寄せください。皆さまからの声をお待ちしております。

〒623-0053 京都府綾部市宮代町前田20番地
JA京都にのくに 営農経済部 野菜づくり教室 係
einoukikaku@ja-kyotoninokuni.or.jp



女性部

joseibu-dayori

だより



11/17 への女文化祭

女性部一大イベント「への女文化祭」が大江町総合会館で開催されました。

夜久野支部の荻野直美さん体験発表をはじめ、各支部・サークルのステージ発表や作品展示など、日頃の活動の成果を披露する場となりました。ここでは、その一部を紹介します。



体験発表
「できることから始めよう」
～家の光を道しるべに～



特別ゲスト 村田直之さん「ふしぎ体感・マジックショー」



作品展示



フラダンス



3B体操



お手玉

家の光1月号 読みどころ

家の光 1月号 2024

特集
いつも
前向きな
あの人の
秘訣

丸ごと味わう
生ハクサイレシピ

別冊付録
色紙をちぎって貼ってすぐに脳トレ
ほっこりちぎり絵ブック

手と指先を使い、色や構図を考えることで脳トレにもつながるとゲームにもなるちぎり絵。材料キットの販売もします。詳しくは本誌P67をご覧ください。

今月の表紙：丘 みどりさん

特集2
P38～48
丸ごと味わう
生ハクサイレシピ

いまが旬のハクサイは、生で食ふなやもつたいない！生ならではの味わいを楽しめるように、調理も味付けもシンプルにしました。丸ごと一玉をらくらく使いきれれる料理レシピをご紹介します。

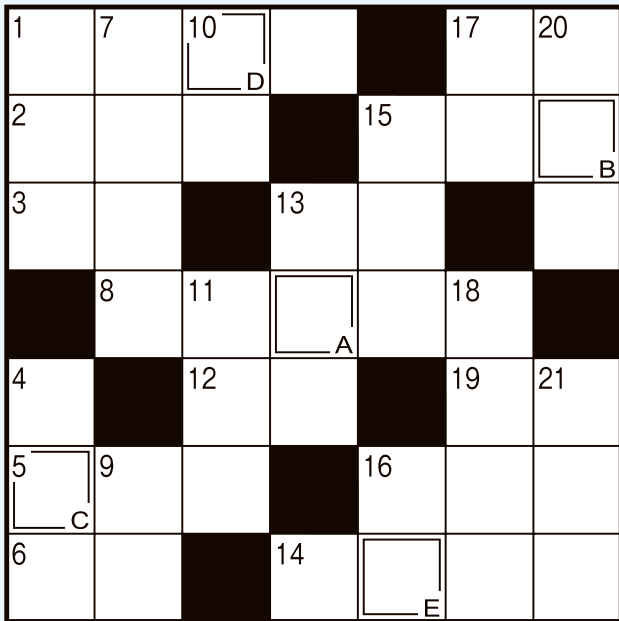
特集1
P18～37
年齢を重ねるのが
楽しみになる！
いつも前向きな
あの人の秘訣

※「家の光」は書店では販売しておりません。最寄りのJA京都にのくに各支店・広域営農経済センターまでお問合せいただくか、直売所「彩菜館」でお買い求めください。

クロスワードパズル



締め切りは **12月15日(金)**
【当日消印有効】発表は1月号



解き方

タテ・ヨコを全部解き、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。



タテのカギ

- ① 大学入学共通テストの理科の科目の1つ
- ④ キウイやポンカン生産量が日本一の県
- ⑦ エッセーともいいます
- ⑨ かつお節や昆布で取ります
- ⑩ ガラガラとうがいを洗うもの
- ⑪ ゆでた麺をざるにあけて行きます
- ⑬ 大股の人は広めです
- ⑮ カメやカッパの背に付いています
- ⑯ —— や硯(すずり)を用意して書き初めをした
- ⑰ カラオケで楽しむもの
- ⑱ —— の計は元旦にあり
- ⑳ 旧暦1月の異称
- ㉑ 見張ること。——カメラ

ヨコのカギ

- ① おせち料理にも使うニシンの卵巣の加工品
- ② 旅行前に —— ブックを買った
- ③ 俳人が名作を生み出した地に建てられていることも
- ⑤ 北を向いたとき西になる方向
- ⑥ 丁寧にいうとご飯です
- ⑧ 横綱を先導して土俵に上がります
- ⑫ セイウチの口からによっきり
- ⑬ 農地 ——、道路交通 ——
- ⑮ DNAが含まれる体の設計図。 —— 操作
- ⑰ 猫が中で丸くなっているかも
- ⑱ 不要物を可燃、——、資源ごみに分別した
- ⑲ 彼女は —— を言わず彼を外に連れ出した
- ⑳ エレベーターの表示では「B」

おたより募集

郵便はがきまたは、Eメールにクイズの答えを下記要領でご記入の上、ご応募ください。正解者の中から抽選で、10名様に商品券(1,000円)をプレゼントいたします。また、「伝言板」と「アートギャラリー」に掲載分も商品券(500円)をプレゼントさせていただきます。

メールアドレス / ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp
Eメールで応募の際は **件名に「クロスワード応募」**とご記入ください。

6230053

京都府綾部市 宮代町前田20番地

JA京都のすくく

企画調整室 係

あなたの住所・氏名・年齢・郵便番号・電話番号

① クイズの答え
② おたより・イラスト
③ ご意見
④ その他

②～④については、各コーナーでご紹介する場合があります。



※お寄せいただいたハガキ・Eメールの個人情報につきましては、各コーナーの目的以外には使用しません。
※氏名の掲載を希望されない方は名前の横にペンネームをお書きください。



11月号の答え シクラメン

※クロスワードパズル
当選者の発表は
賞品の発送をもって
代えさせていただきます。

ふれあいスタッフ

舞鶴広域営農
経済センター

橋本 里葵



カいっぱい対応します

舞鶴広域営農経済センター管内の中でも、東舞鶴地区にて営農のサポートに携わっています。今年4月に入組したばかりで、まだまだ未熟ですが、皆さまが困っていること、頼まれたことは責任をもって最後まで対応します。どんなことでもお気軽にお声がけください。

10月末 事業取扱高

● 組合員数 20,086人	● 貯金残高 1,673億7,962万円	● 長期共済保有高 4,415億 233万円
	● 貸出金残高 397億6,563万円	● 購買品供給高 6億6,525万円
	● 長期共済新契約高 99億3,275万円	● 販売品取扱高 13億4,104万円

理事会報告

協議事項

- 2023年度上期決算の概要と
(株)アグリサポート夢の上期決算の概要
- 就業規則の一部改正
- 定年後再雇用規程の一部改正
- マネー・ローンダリング等および
反社会的勢力等への対応に関する
基本方針等の一部改正
- 2023年度余裕金運用計画額および
運用方針の変更

報告事項

- 月例報告
- 2023年産米の出荷実績
- 利益相反取引完了報告
- 農産物応援定期の取り組み結果
- 「備えて・もらえるキャンペーン」の実施
- 共済金の支払い
- 余裕金の運用状況
- 2023年度第3四半期の余裕金運用方針・計画
- 余裕金運用にかかるリスク情報
- 金融円滑化の対応状況
- 大口信用供与先の状況
- 2023年度内部監査上期業務活動報告
- コンプライアンス・プログラムの進捗状況
- 2023年度上期・
不祥事未然防止にかかる取り組み
- 相談苦情等の対応状況
- 事務ミス等の発生状況
- 事務指導による検証結果
- 自主検査結果
- 職場討議
- 反社会的勢力等との取引排除にかかる対応状況
- 疑わしい取引の届出状況
- ヘルプラインの受付対応状況報告
- 9月末資産査定結果
- 2023年度支店活性化活動の取り組み
- 新春座談会の開催
- 2023年度遊休・不稼働資産管理状況
- 2024年度職員の採用
- ウオーம்பイズの実施
- 組合員の加入・脱退

JA京都にのくに 限定企画

備えて・もらえる キャンペーン

キャンペーン期間

2023年 10月 29日 - 2023年 12月 29日

《対象共済》

一時払終身共済 (平28.10)

生存給付特則付

一時払終身共済 (平28.10)

一時払介護共済

建物更生共済

むてきプラス 1倍

キャンペーン期間中、対象共済を新規でご成約いただいた
合計300名様に抽選で下記の賞品の中から1点プレゼント!!



毎月末の抽選だから、各期ごとに当たるチャンス! 複数当選もあるかも…!?

- ※プレゼントへのご応募は、対象共済保障額一口100万円からとなります。
- ※当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- ※早期で失効・解約された場合、当選が無効となる場合があります。
- ※プレゼント賞品は数に限りがございますので、変更となる場合があります。※写真はイメージです。

JA共済は、「ひと・いえ・くるま・農業」の
総合保障で確かな安心をお届けします。

※ご提供いただいた個人情報は、JAおよびJA共済連の事業ならびに各種
サービスのご提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、
JA共済は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めております。

あとかぎ

今年もあと半月ほどとなり、皆さまもきっとクリスマスの準備や年末年始の計画などで慌ただしい毎日をご過ごしていることと思います。その中でも、本誌を一年間ご愛読いただきまして、心より感謝申し上げます。また来年も変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。新しい年が皆さまにとって素晴らしいものとなりますよう、心からお祈りしております。それでは、素敵な年末年始をお過ごしください。
(ヒコ)



おたよりをお待ちしています!

夢彦ふれあいだよりでは、読者の皆さまの声を多くご紹介したいと考えています。身近なエピソードや地域の話題、イラストや写真など、どしどしお寄せください。本誌に採用させていただいた方には農産物直売所「彩葉館」などをご利用できる「にのくに商品券」をプレゼントします。

〒623-0053 綾部市宮代町前田20
JA京都にのくに 企画調整室

Eメールでもどうぞ
ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp

- ※作品・写真は返却できません。おたよりは誌面に掲載する場合があります。
- ※作品・写真はInstagramで紹介させていただく場合があります。
- ※応募で記載された個人情報は「掲示板」への掲載、プレゼントの発送以外には利用いたしません。



特別純米吟醸酒

丹の国穂まれ

2014年の発売開始から、
毎年冬の風物詩として皆さまに
ご愛飲いただいています「丹の国穂まれ」。
今年も管内産米を100%使用し、
地元の蔵元が醸造。
昨年よりさらに米を磨き上げ
「特別純米吟醸酒」として
皆さまのご家庭にお届けします。
滑らかな飲み口と米本来の味わい
をお楽しみください。



発売日
12月下旬



購入できる場所
農産物直売所「彩菜館」各店舗

- 内容量/[1800ml] 4,400円 [720ml] 2,200円
- アルコール分/15度以上16度未満
- 原材料名/米(京都府産)・米こうじ(京都府産米)
- 精米歩合/55%
- 醸造元/若宮酒造株式会社(京都府綾部市味方町)

2023年~2024年 年末年始の営業日のご案内

○=営業日 ×=休業日

			支店	広域営農 経済センター	地域農業 振興係	ATM	彩菜館
12月	27日	水	○	○	○	○	○
	28日	木	○	○	○	○	○
	29日	金	○	○	○	○	○
	30日	土	×	×	×	○	○
	31日	日	×	×	×	○	×
1月	1日	(祝)	×	×	×	○	×
	2日	火	×	×	×	○	×
	3日	水	×	×	×	○	×
	4日	木	○	○	○	○	×
	5日	金	○	○	○	○	×
	6日	土	×	×	×	○	○
	7日	日	×	×	×	○	○
	8日	(祝)	×	×	×	○	○

※舞鶴東支店ATMは、彩菜館の休業日・営業時間外はご利用できません。

※年末年始のキャッシュカード紛失時の連絡先は☎0120-261-163(JA/バンク京都キャッシュカード紛失受付ダイヤル：24時間対応)まで。

※年末年始のJAカード(NICOS)の紛失時の連絡先は☎0120-159-674(NICOS盗難紛失受付センター：24時間対応)まで。

※JA葬祭【綾部・福知山(☎0773-42-9186)舞鶴(☎0773-62-1700)】につきましては年末年始対応されます。

※全農京都農機センター(☎0773-42-3044)は、年内は12月28日(木)まで営業し、年始は1月9日(火)より営業いたします。



カレンダー作成の取りやめと環境への取り組みについて

当JAでは環境への配慮とCO2排出削減に向けた取り組みとして、ペーパーレス会議の導入や
広報誌のページ数削減など、紙の使用枚数の削減に取り組んできました。

このような取り組みの一環として、毎年年末にお配りしていますカレンダーの作成を取りやめるこ
ととなりました。皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

